農産物流通技術研究会　第130回研究例会

**「鮮度」の新定義と高鮮度実現のための課題**

種々の調査結果で、「鮮度」は、消費者が青果物を購入する際に重要視する項目であることが示されている。一方で、鮮度に関しては、関係学会等で長年にわたり議論されているものの、その定義は確定しておらず、主観的な尺度で判断されたり、成分含有量の初期値からの減少で表されたりしているのが現状である。このように「鮮度」の定義は曖昧である。そこで、本研究例会では、先端の研究事例や野菜加工の現場での事例などを講演いただき、「鮮度」とは何かを学術的・実用的な観点から議論し、客観的な「鮮度指標」や農産物流通の現場で求められる鮮度保持を再考する機会としたい。当日は参加者の皆様も含めて、農産物流通における「鮮度」について議論を深めたいと思います。

奮ってご参加ください。

記

１．日　 時：2018年5月22日（火）13:30～16:50

２．場　 所：科学技術館 第三会議室

　　　　　　　東京都千代田区北の丸公園２番１号

３．演題・講演者

(1) 「鮮度とは」 岐阜大学大学院 連合農学研究科　中野浩平

(2) 「遺伝子発現で鮮度を測る」 農研機構 食品研究部門　　　　　永田雅靖

(3) 「鮮度管理へのOmics技術の利用可能性」 千葉大学大学院 園芸学研究科　　椎名武夫

(4) 「野菜加工事業から見た鮮度」 (株)グリーンメッセージ　　　　 藤本幸佳

(5) 総 合 討 論

４．参 加 費：会員：3,000円(資料代)、　非会員：10,000円(参加費+資料代)、　学生会員：1,000円

　　　　　　　協賛学会会員（準会員）：5,000円（参加費＋資料代）。

　　　　　　 (注)参加費の支払い方法等については参加申込書でご指定ください。

　　　　　　　　 追って、事務局より必要書類をお送りします。

５．参加申込：氏名、所属、住所、FAX、TELをご記入の上、電子メール、ファックス、または郵便で下記へお申し込み下さい。

追って請求書をお送りしますので、５月16日迄にお振込み下さい。

６．定　　員： 100名

**＜お問い合わせ先＞**

農産物流通技術研究会事務局

TEL: 029-838-7191、FAX: 029-838-7996

E-mail: noryu-giken＠ml.affrc.go.jp 、ホームページ：http://www.noryu.academy

〒305-8642　茨城県つくば市観音台2-1-12

農研機構 食品研究部門 食品加工流通研究領域 食品流通システムユニット内

**農産物流通技術研究会事務局　行**

〒305-8642　茨城県つくば市観音台2-1-12

農研機構 食品研究部門 食品加工流通研究領域 食品流通システムユニット内

**FAX：029-838-7996**

**農産物流通技術研究会 第130回研究例会 参加申込書**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 会社・事業所 | | | いずれかに○ | | 参加費支払い窓口 | | | |
|  | | | １．会　　　員  ２．準 会 員  ３．学生会員  ４．非 会 員 | | 部署名 | | TEL  　　　　　（　　　　） | |
| 担当者名 | | 支払予定日  　　　　　　月　　　　日払 | |
| 所在地　〒  都 道  府 県 | | | | | | TEL　　　　　　(　　　)  FAX　　　　　　(　　　) | | |
| 参　加　者　名 | 氏名１ |  | 役職名 |  | | 受付No. | |  |
| 氏名２ |  | 役職名 |  | | 参加費合計 | |  |
| 氏名３ |  | 役職名 |  | | 支払方法  いずれかに○ | | １.　銀行  ２.　郵便 |
| 氏名４ |  | 役職名 |  | | 請 求 書 | | 要 ・不要 |
| 氏名５ |  | 役職名 |  | |  | |  |